

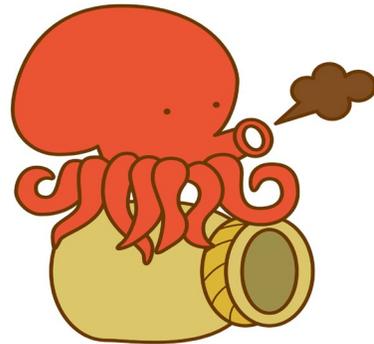
たこつぼ型心筋症

(たこつぼがたしんきんしょう)

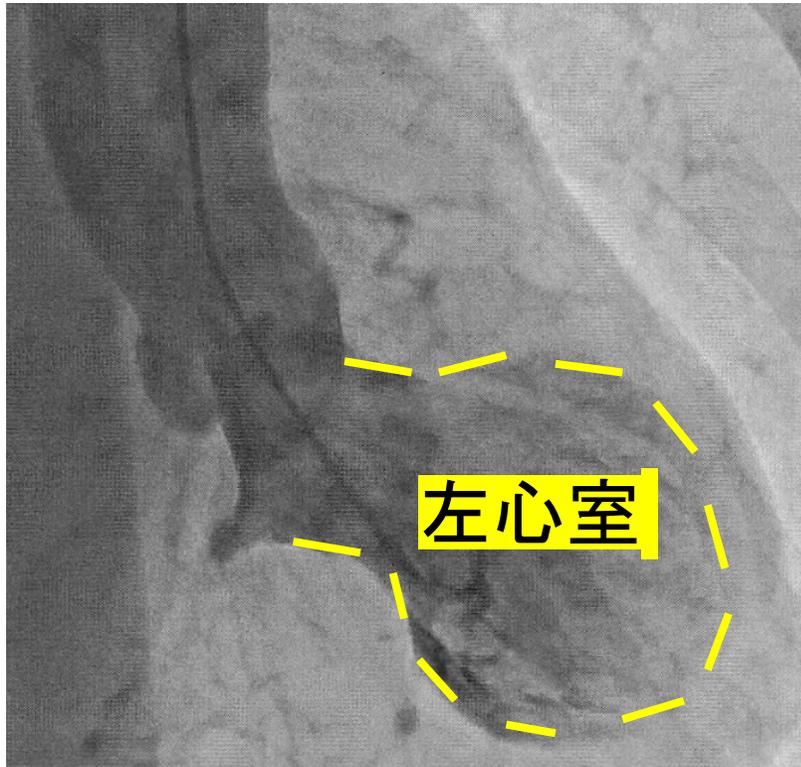
笹生病院 循環器内科 患者様資料

たこつぼ型心筋症とは？

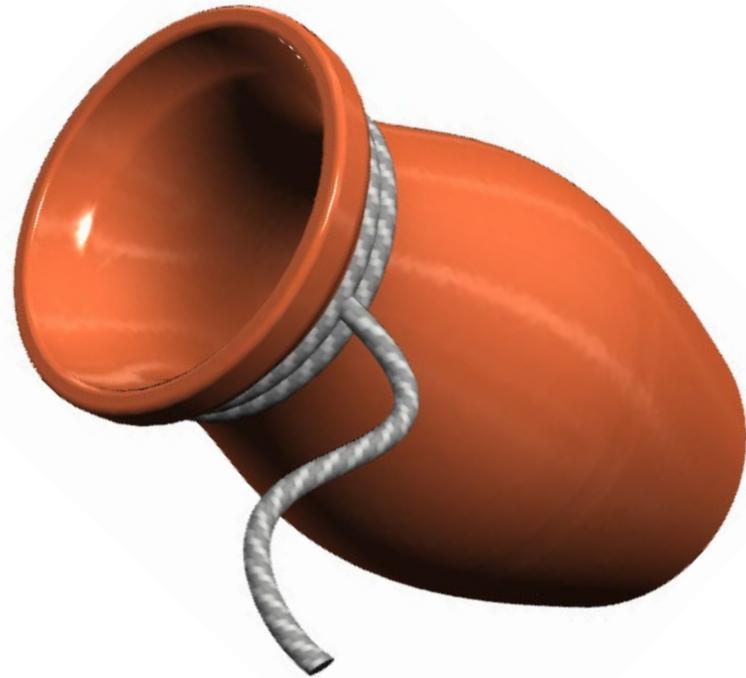
- 心臓の動きが一時的に悪くなってしまう病気です。
- 胸の痛みや息切れなどの症状で発症します。
- 症状や検査結果が心筋梗塞と似ており、検査の初期段階で区別が難しいことがあります。



病気の名前の由来は？



当院の検査
画像を引用



心臓の左下の部屋(左心室)の一部分の動きが悪くなり、その形がたこつぼに似ていることが名前の由来です

原因について

高齢の女性に頻度が高く、肉体的や精神的なストレスが原因となることが多いです
(病気のメカニズムは解明されていません)。

例：脳卒中や肺炎などの肉体的ストレス
肉親の死などの精神的ストレス



症状



胸の痛み、息苦しさなどの
症状で発症することが多い
です。

みぞおちや背中痛みが
出ることもあります。

診断方法



心臓の血管(冠動脈)に
大きな問題がない

心電図、心臓エコーなどからこの病気を疑います。

ただし心筋梗塞と似た変化を示すため、診断確定のために**心臓カテーテル検査**が必要となります。

当院の検査
画像を引用

治療

- 入院していただき、心臓の動きが回復してくるか経過をみます(通常は1～2週間で自然に回復します)。
- 経過中に心不全、不整脈、血栓症(心臓の動きの悪い部分に血栓がつく)などを生じることがあります。それぞれの予防や治療を行います。
- 稀に心臓が破裂し、命に関わることもあります。

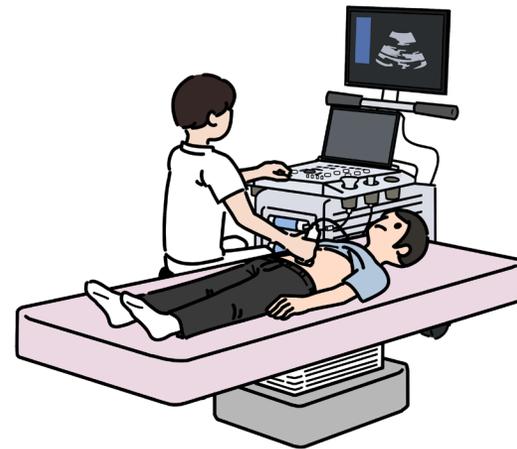
入院日数



病気の重症度、心臓の動きの回復具合などによって異なりますが、1～2週間での退院が一般的です。

退院後のこと

- 退院後しばらくは強いストレスがかかる仕事、用事などは避けていただくことが望ましいです。
- 一定期間は外来通院いただき、心電図やエコー検査などのフォローが必要です。



再発はするか？



頻度は少ないですが、期間を空けて再発することがあります。

その際は再度入院加療が必要です。

その他ご不明点などは気軽に
担当医師にお尋ね下さい

